

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成22年11月5日

上場取引所 大

上場会社名 システム・ロケーション株式会社  
 コード番号 2480 URL <http://www.slc.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成22年11月12日  
 配当支払開始予定日 —

(氏名) 千村 岳彦  
 (氏名) 橋本 祐紀典

TEL 03-6452-2864

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の連結業績(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	451	△16.9	16	△76.3	20	△73.5	△7	—
22年3月期第2四半期	542	△15.8	70	△45.3	76	△27.1	37	△34.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	△2.27	—
22年3月期第2四半期	10.66	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	1,787	1,333	74.6	378.97
22年3月期	1,958	1,400	71.5	396.90

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 1,333百万円 22年3月期 1,400百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
23年3月期	—	0.00	—	—	—
23年3月期 (予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 有

3. 平成23年3月期の連結業績予想(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	807	81.7	△35	—	△35	—	△164	—	△46.75

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 有

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 当四半期中における重要な子会社の異動 無

新規 一社（社名 ）、除外 一社（社名 ）

（注）当四半期会計期間における連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動の有無となります。

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

（注）簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

（注）「四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	23年3月期2Q	3,570,000株	22年3月期	3,570,000株
② 期末自己株式数	23年3月期2Q	41,404株	22年3月期	41,366株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	23年3月期2Q	3,528,622株	22年3月期2Q	3,550,738株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	2
2. その他の情報 .....	3
(1) 重要な子会社の異動の概要 .....	3
(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要 .....	3
(3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要 .....	3
(4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書 .....	6
(第2四半期連結累計期間) .....	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	7
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	8
(5) セグメント情報 .....	8
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	8

## 1. 当四半期の連結業績等に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、日本政府の経済対策や輸出の増加に下支えされたものの、雇用情勢・所得環境については改善には至っておらず、その後の急激な円高の進行による輸出の頭打ち傾向や株安等によって依然として不透明な状況が続いております。

当社グループの主要顧客層であるオートリース会社を中心とした自動車関連ファイナンス業界では、リース車を利用する顧客の新車への代替えを控えている状況は好転しておらず、また、主要輸出先であったロシアの輸入規制は緩和されることなく推移しており、当社の中古車両入札会への出品台数はいまだ回復しておりません。

このような中、当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、入札会における出品台数の減少が継続していることにより、再販業務支援売上は前年同期比21.6%減の295,208千円となりました。

一方、システム業務支援売上は新規システムサービスの顧客への浸透により、新たな定期収入は増加いたしましたが、単発的な新規開発案件がなかったため、前年同期比では6.2%減の155,870千円となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は451,078千円で前年同期比16.9%の減収となりました。販売費及び一般管理費は、前年同期比での人員減と全社的なコスト削減活動の継続効果により、前年同期比2.4%減の218,427千円となったものの、営業利益としては前年同期比76.3%減の16,765千円となり、経常利益は同73.5%減の20,379千円となりました。なお、特別損失として、第1四半期連結会計期間より適用された資産除去債務の計上に加え、事務所移転にともなう移転費用、及び一部ヤードの移転に伴う減損がありましたので、これに法人税等を加減した四半期純損失は7,995千円（前年同期は37,855千円の四半期純利益）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末より170,832千円減少し、1,787,589千円となりました。その主な要因としましては、現金及び預金の減少額364,185千円、仕入債務の減少額115,538千円によるものであります。

なお、純資産は1,333,872千円となり、自己資本比率は74.6%となりました。

#### (キャッシュ・フローの状況)

第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は658,818千円となり、前連結会計年度末と比較して464,137千円の減少となりました。

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は72,626千円の支出（前年同期は22,474千円の収入）となりました。主なプラス要因は、減価償却費の計上37,642千円及び減損損失の計上17,358千円であり、主なマイナス要因は、税金等調整前四半期純損失の計上5,859千円及び仕入債務の減少額115,538千円であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は337,921千円の支出（前年同期比3,529.2%増）となりました。主なマイナス要因は、有形固定資産の取得による支出212,771千円、定期預金の預入による支出100,000千円であります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は53,528千円の支出（前年同期比5.1%減）となりました。主な要因は、配当金の支払額52,863千円によるものです。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

第2四半期業績は、上述の通り前年同期に比べ厳しい状況であり、この状況は今期後半においても継続するものと予測しております。こうした最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月7日付「平成22年3月期決算短信」に記載致しました、当期（平成22年4月1日～平成23年3月31日）の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、本日、別途開示しております「業績予想の修正及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

## 2. その他の情報

### (1) 重要な子会社の異動の概要

該当事項はありません。

### (2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

### (3) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

#### ・会計処理基準に関する事項の変更

第1四半期連結会計期間より、「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号 平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第21号 平成20年3月31日）を適用しております。これにより、営業利益及び経常利益は986千円、税金等調整前四半期純損失では7,390千円増加しております。また会計基準等の適用開始による資産除去債務の変動額は17,954千円であります。

#### ・表示方法の変更

「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成20年12月26日）に基づく「財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則等の一部を改正する内閣府令」（平成21年3月24日 内閣府令第5号）の適用により、当第2四半期連結累計期間では、「少数株主損益調整前四半期純損失（△）」の科目で表示しております。

### (4) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	633,629	997,815
売掛金	55,335	55,817
営業未収入金	35,394	35,043
有価証券	125,189	125,141
商品及び製品	21	924
仕掛品	131	—
原材料及び貯蔵品	398	507
その他	39,001	32,968
貸倒引当金	△2	△1
流動資産合計	889,099	1,248,216
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	243,903	154,972
減価償却累計額	△60,744	△52,732
建物及び構築物(純額)	183,159	102,239
車両運搬具	11,626	11,626
減価償却累計額	△7,311	△6,285
車両運搬具(純額)	4,315	5,341
工具、器具及び備品	87,121	91,674
減価償却累計額	△70,548	△67,508
工具、器具及び備品(純額)	16,572	24,165
土地	120,430	—
リース資産	5,345	5,345
減価償却累計額	△2,866	△2,252
リース資産(純額)	2,479	3,093
有形固定資産合計	326,956	134,839
無形固定資産	123,667	129,744
投資その他の資産		
投資有価証券	157,507	172,534
保険積立金	187,923	182,458
その他	126,900	115,093
貸倒引当金	△24,466	△24,466
投資その他の資産合計	447,864	445,620
固定資産合計	898,489	710,205
資産合計	1,787,589	1,958,421

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成22年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成22年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	15,230	23,805
営業未払金	231,058	338,022
未払法人税等	16,774	8,776
賞与引当金	10,254	9,892
資産除去債務	8,495	—
その他	31,728	51,122
流動負債合計	313,541	431,618
固定負債		
退職給付引当金	17,506	15,549
役員退職慰労引当金	112,816	108,854
資産除去債務	9,851	—
その他	—	1,882
固定負債合計	140,174	126,285
負債合計	453,716	557,904
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	191,445	191,445
資本剰余金	191,230	191,230
利益剰余金	940,434	1,001,360
自己株式	△18,251	△18,242
株主資本合計	1,304,857	1,365,792
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	52,073	56,050
為替換算調整勘定	△23,058	△21,325
評価・換算差額等合計	29,015	34,725
純資産合計	1,333,872	1,400,517
負債純資産合計	1,787,589	1,958,421

(2) 四半期連結損益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)
売上高	542,966	451,078
売上原価	248,627	215,885
売上総利益	294,339	235,192
販売費及び一般管理費	223,725	218,427
営業利益	70,613	16,765
営業外収益		
受取利息	247	237
受取配当金	1,764	1,853
負ののれん償却額	64	—
保険解約益	14,531	9,659
受取賃貸料	838	838
受取事務手数料	1,211	192
その他	854	1,103
営業外収益合計	19,513	13,885
営業外費用		
支払利息	49	34
保険解約損	829	244
持分法による投資損失	6,788	6,021
投資事業組合損失	1,692	540
賃貸借契約解約損	—	3,000
不動産賃貸費用	3,150	—
その他	629	429
営業外費用合計	13,140	10,271
経常利益	76,986	20,379
特別利益		
賞与引当金戻入額	4,561	—
その他	12	—
特別利益合計	4,574	—
特別損失		
固定資産除却損	3,532	51
固定資産売却損	3,056	—
減損損失	—	17,358
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,403
事務所移転費用	—	2,425
その他	709	—
特別損失合計	7,298	26,238
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	74,262	△5,859
法人税、住民税及び事業税	42,676	15,724
法人税等調整額	△6,270	△13,588
法人税等合計	36,406	2,136
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	—	△7,995
四半期純利益又は四半期純損失(△)	37,855	△7,995

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	74,262	△5,859
減価償却費	40,740	37,642
引当金の増減額(△は減少)	6,917	6,283
減損損失	—	17,358
受取利息及び受取配当金	△2,012	△2,090
支払利息	49	34
持分法による投資損益(△は益)	6,788	6,021
保険解約損益(△は益)	△13,701	△9,414
固定資産売却損益(△は益)	3,056	—
固定資産除却損	3,532	51
売上債権の増減額(△は増加)	44,845	131
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,644	1,005
仕入債務の増減額(△は減少)	△160,658	△115,538
前受金の増減額(△は減少)	△11,744	△11,046
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	—	6,403
その他	16,669	△1,733
小計	10,389	△70,751
利息及び配当金の受取額	2,012	2,090
利息の支払額	△49	△34
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	10,122	△3,931
営業活動によるキャッシュ・フロー	22,474	△72,626
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	—	△100,000
有形固定資産の取得による支出	△7,761	△212,771
有形固定資産の売却による収入	40	—
無形固定資産の取得による支出	△23,354	△20,120
投資有価証券の取得による支出	△7,350	—
投資事業組合からの分配金による収入	42,040	—
差入保証金の差入による支出	△473	△70
差入保証金の回収による収入	7,623	—
保険積立金の積立による支出	△43,021	△5,721
保険解約による収入	22,945	761
投資活動によるキャッシュ・フロー	△9,311	△337,921
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	△2,513	△8
配当金の支払額	△53,224	△52,863
リース債務の返済による支出	△640	△655
財務活動によるキャッシュ・フロー	△56,379	△53,528
現金及び現金同等物に係る換算差額	△53	△61
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△43,268	△464,137
現金及び現金同等物の期首残高	1,109,219	1,122,956
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,065,950	658,818

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当社グループは、再販業務支援、システム業務支援を融合した、不可分一体の事業として行っているため、事業の種類別セグメント情報の開示を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦以外の国又は、地域に所在する連結子会社がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

当社グループは、海外売上高がないため該当事項はありません。

【セグメント情報】

当第2四半期連結累計期間（自平成22年4月1日 至平成22年9月30日）

当社グループは、再販業務支援、システム業務支援を融合した不可分一体の事業を行っており、単一セグメントであるためセグメント情報の開示を省略しております。

(追加情報)

第1四半期連結会計期間より、「セグメント情報等の開示に関する会計基準」（企業会計基準第17号 平成21年3月27日）及び「セグメント情報等の開示に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第20号 平成20年3月21日）を適用しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。